

下野市子ども・子育て会議 議事録

審議会等名 令和6年度第4回下野市子ども・子育て会議
日 時 令和7年3月27日（木） 午後1時30分から2時30分まで
会 場 下野市保健福祉センター ゆうゆう館 会議室
出席者 一戸幸宏委員、新田知明委員、津野田仁大委員、金澤芳之委員、
小倉庸寛委員、野口恵美委員、佐間田香委員、近藤令兒委員
【欠席委員】大橋なみ子委員、小池里美委員、川中子源委員、藤川智子委員、
荻原健一委員、中田好則委員

市側出席者 （事務局）荻原健康福祉部長、浅香子育て応援課長、
大山こども家庭センター長、間板健康増進課長、
石島学校教育課長、篠原子育て応援課課長補佐、
山家子育て応援課課長補佐、添野子育て応援課課長補佐、
大越子育て応援課主査、小林子育て応援課主事

公開・非公開の別（ ☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開 ）

傍聴者 0名

報道機関 なし

議事録（概要）作成年月日 令和7年4月7日

1. 開 会

（事務局、浅香課長）

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまより、令和6年度第4回下野市子ども・子育て会議を開会いたします。本日の委員の出欠状況ですが、事前に藤川委員、中田委員からご欠席の連絡を受けております。大橋委員、小池委員、川中子委員、荻原委員がまだ見えておりませんが、現在8名の委員の出席があります。下野市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定を満たしており、会議が成立することをご報告いたします。それでは、次第に則りまして会長からご挨拶をお願いいたします。

（佐間田会長）最後の会議ということで、長い間ありがとうございました。私たちの意見をこのように計画に反映していただき、事務局には感謝を申し上げます。また活発に議論いただき、皆さんお忙しい中ですが、これが本来の会議なのだと嬉しく思っていました。いろんな意見があつてこそこの会議だと思います。いつものように意見に間違いはありませんので、言いたいことを言っていだきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

(事務局、浅香課長)

それでは議事に入ります。下野市子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、会長に議事進行をお願いしたいと思います。

(佐間田会長) では次第3の議事録署名人の選任についてですが、本会議の議事録署名人は一戸幸宏委員にお願いしたいと思います。

次に議事に入っていきたいと思います。(1) 第一期下野市こども計画について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局、添野課長補佐)

【資料に基づき、第一期下野市こども計画について説明】

(佐間田会長) ただいま事務局より説明がありました。この件について何かございますか。

(近藤委員) こども向けリーフレットの表紙の瑠璃ちゃんが和装で載っていたのはなぜかなと思いました。あと個人的な意見になりますが、何か食べながら喋ることが苦手なので、子どもの挿し絵3か所が食べながら喋っているのが気になりました。

(事務局、添野課長補佐)

こども計画を知っていただくための入り口となるリーフレットですので、こういった子どものイラストを使用したものを作成いたしました。イラストはたくさん候補がありますので、少し検討させていただければと思います。

(佐間田会長) この他に何かありますでしょうか。

私からこども計画案について細かいところになりますが、何点かよろしいでしょうか。まず21ページの放課後児童健全育成事業の実施状況で、祇園小学校の祇は文字が変換できなかったのか気になりました。次に26ページの児童発達支援・放課後デイサービスの実施状況で、こどもサポート教室「きらり」下野校が2か所記載あり、これは違う場所なのでしょう。次に35ページのアンケート結果で、しもつけっ子応援プロジェクトと記載がありますが、この段階で何なのかよくわからないと思いましたので、60、61ページ参照とか記載があってもいいかなと思いました。次に学童保育ニーズ調査ですが、就学前児童(5歳児)の保護者のデータが43ページ以降添付されていないので、これは意図的に載せていないのか気になりました。次に56ページの近くにあったらいいと思う遊び場や施設は何ですかという問いの答えですが、下部では何とかの場と記載があります。しかし、中段では緑や川など自然とふれあうことができる場所とあり、表現が変わっているのはなぜだろうと思いました。次のページの(17)近所の人とのあいさつについての上から2段目の答えが2段に分かれていたのが気になりました。あとは60、61ページ。しも

つけっ子応援プロジェクトの概要ですが、これは事業がまとまっていてとてもいいなと思いました。保護者がよく行くような場所や人の目につくような場所、こども園、小児科など、いろいろなところにポスターみたいにしてあるといいなと思いました。この子ども向けリーフレットもポスターみたいにして、学校の子どもたちが目につく場所に貼っていただけると嬉しいなと思います。こちらについては、本当によく作っていただけて感謝しています。

74 ページの 1 行目にあるお誕生連絡票受理時の保健師・助産師による面接とありますが、受理だと保健師・助産師が主語で、市民からすると提出という言葉なのかなと思いました。82 ページも同様です。84 ページの下部にカンピくんの吹き出しに、市民活動センターはあまり機能していなかったからとありますが、こういったことはあまり載せない方がいいかなと思いました。108、109 ページに保健師・助産師など役職が書いてあります。心理士は数年前から国家資格もあり、民間の資格もある状況です。国家資格の臨床心理師は保健師や助産師と同様の師を使っています。括弧書きで両方を記載してもいいと思いますが、国家資格の方が上位にあたるとしますので上位のもので記載した方がいいかなと思いました。最後に、この子ども向けリーフレットですが、ありがとうございました。子ども達にもとてもわかりやすくして私は好きです。子ども達もスマホを持っていますので、二次元コードをどこかに載せていただくとさらにいいかなと思います。

(小倉委員) 私もよろしいでしょうか。72 ページの次が 62 ページと記載されています。次に 122 ページに大臣の写真が載っていますが、ここは児童育成支援拠点事業に関するようなものがよいかなと思います。あとは私も会長と同じで、本当に素晴らしいものになったなと思います。あともう 1 点、78 ページに幼小連絡協議会の実施で、幼小連絡だけでは幼稚園と小学校だけかと思われてしまうかなと思ひまして、幼・保・小に変更していただけるとわかりやすいかなと思います。国は架け橋期のプログラムという言い方をしているので、架け橋期のプログラムの実施という言い方だといいなと思いますし、幼児教育施設が小学校としっかり繋がっていることがわかるといいなと思います。直していただけるのなら、直していただけるとありがたいです。

(近藤委員) 今更かもしれませんが、113 ページの量の見込みがどうしたいのかわかりません。例えば 113 ページの令和 5 年度の実績は 350 なのに、令和 7 年度は 280 になっていますし、実績が横棒で入っています。あとは 116 ページでは ②－①だとマイナスの数字になるのかなと思います。117、118 ページも同様です。あと 131 ページのカンピくんの吹き出しでは、僕らとなっていますが、僕らってカンピくんと誰なのか分かりません。137 ページでは川中子委員のフリガナが「かわなかご」さんになっています。最後に 140 ページの葉っぱに触れると、の次が改行となっているのはなぜか分かりませんでした。以上

です。

(佐間田会長) 他にご意見ありますでしょうか。事務局の方、みんなで作っていったら思っていますので細々と申し訳ありません。

(事務局、添野課長補佐)

ご意見いただきありがとうございます。こちらの確認が足りず、反省しております。佐間田会長、小倉委員、近藤委員からいただきました誤字・誤植、改行等につきましてはただちに修正させていただき、反映させていただきます。祇園の祇の字ですが、今回採用しているユニバーサルフォント字では正しい字がなく、他の字体を貼り付けているような状況です。作字が可能であれば、対応してまいります。また、しもつけっ子応援プロジェクトについても、広く皆様にお示ししていくことが重要と考えておりますので、ポスター等印刷物を利用し、各所に掲示できるよう積極的に努めてまいります。74 ページの受理という言葉ですが、おっしゃる通り市民の方の目線では提出という表現になるかと思います。今回こちらに記載させていただいているものは、行政側からの目線で取組を記載しておりますので、受理という表現を使用しております。

(佐間田会長) わかりました。ありがとうございます。たくさん申し上げましたので、庁内で検討していただければと思います。

(事務局、添野課長補佐)

ありがとうございます。反映できるものは反映してまいりたいと思います。近藤委員からご指摘いただきました数字の誤りについては、正しく修正させていただきます。横棒が入っている箇所につきましては、新たな事業で実績がないことから、横棒を入れております。

(近藤委員) それは載せないといけないのですか。

(事務局、添野課長補佐)

こちらにつきましては、新たに載せるべき項目の一つとなっております。

(事務局、石島課長)

先ほど小倉委員からご指摘いただきました幼小連絡会議の幼小という言葉ですが、こちらには注釈を入れさせていただきたいと考えております。幼は幼稚園という意味ではなくて幼児教育、小は小学校教育という意味です。幼児教育には、幼稚園、認定こども園、保育園等が含まれます。可能であれば、78 ページに幼小の後ろに（※幼児教育と小学校教育の意味）とさせていただ

きたいと考えております。

(事務局、大山センター長)

先ほど近藤委員からごしていただきました 113 ページの養育支援訪問事業ですが、こちらは 121 ページの子育て世帯訪問支援事業から枝分かれした事業になります。養育支援訪問事業は相談・指導・助言に特化した事業、子育て世帯訪問支援事業は家事援助する事業です。前回の計画までは、同じ事業としていましたので、枝分かれしたことにより、数字が減少しております。

(佐間田会長) ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。また何かありましたら最後に伺いたいと思います。それでは次の議事に移ります。(2) 特定教育・保育施設の利用定員について、事務局から説明を求めます。

(事務局、篠原課長補佐)

【資料に基づき、特定教育・保育施設の利用定員について説明】

(佐間田会長) ただいま事務局より説明がありました。この件について、何かご意見ありますでしょうか。

それでは次の議事に移ります。5. その他 市の取組事業の報告について、事務局から説明を求めます。

(事務局、添野課長補佐、大山センター長)

【市の取組事業の報告について説明】

(佐間田会長) ただいま事務局より説明がありました。この件について、何かご意見ありますでしょうか。

(近藤委員) 毎月木曜日とは、第何木曜日とか決まっていますか。

(事務局、大山センター長)

該当者には今週通知を発送する予定で、2 か月前にも再度お知らせします。現在分かっている範囲で申し上げますと、第1回は5月29日になります。その後は6月19日、7月24日、8月21日、9月18日を予定しておりますので、概ね第3、4木曜日を予定しております。

(佐間田会長) 緑小学童保育室を一時的に南河内児童館学童保育室で預かるということと、今回の5歳時健診はどのように保護者に周知されましたか。また、ご意見などなかったかお聞きしたいです。

(事務局、大山センター長)

5歳児健診については市ホームページ、また広報紙の4月号か5月号に掲載する予定です。また先ほども申し上げましたが、今週に該当者へ通知し、2か月目に再度通知する予定です。

(佐間田会長) 例えば、4月1日にこういう検査が始まりますみたいなお便りはありますか。

(事務局、大山センター長)

市ホームページに掲載する予定です。

(事務局、添野課長補佐)

緑小学童保育室の件につきましては、保護者、学校、自治会長には通知やご説明をさせていただき、ご理解をいただいたところです。これまでも長期休業時は南河内児童館を既に利用していましたので、違和感なく移行できると考えております。

(佐間田会長) 他に何かご意見ありますでしょうか。議事については以上になります。最後になりますので、皆様から一言お願いいたします。

(一戸委員) 私も仕事をしており、遅く帰ってから資料を読み、疲れてから読むことが多く、また慣れない文章も多く、なかなか頭に入ってこない状況でした。本当は質問とかしなくてはいけないのに、質問も思い浮かばず、こういうものなんだなと思いつつ、やっていたところが本当のところでした。その中で、こういう取組があるんだと勉強になりましたので、今後もまた何かお役に立てればと思っております。また何かありましたら宜しくお願いします。

(佐間田会長) 一般の方は先ほどのしもつけっ子応援プロジェクトってどうですか。

(一戸委員) こういう会議に来ていればわかりますが、一般の市民の方にはわかりづらいと思います。こういうことをやっているのはわからないかと思います。お母さんたちはこういうことに興味があるのでネットとかみて調べると思いますが、お父さんたちはこういうのはほとんど興味がないかと思います。自分が興味ある事や子どもがやっている事には興味をもって取り組むことが多いと思いますが、こういうことは漠然としたものが多いので、興味が薄いのかと思います。

(佐間田会長) どこにどうすればよいと思いますか。

(一戸委員) よく私は保護者の方に、こういうことをやっていますと言っても、お母さん

は興味がないような感じで聞いているように思えます。興味をもてるような取り組みであったり、宣伝であったりをした方がよいかと思いますし、もっと読みたくなるようなものにしたい方がよいかと思います。

(新田委員) 私もたいした意見を言えず、お力になれなかったと思いますが、今の意見と同じで、私も見るが多すぎて正直面倒くさいと思ってしまいます。自分が得するようなものを見たきっかけで知ってもらったりするかと思いますし、文字だけでは堅くてわかりづらいと思います。小学校などに置いてあると、子どもに関係することだから保護者も見ようかと思うと思いますし、子ども向けのリーフレットから保護者も知ることができるのかとも思います。

(津野田委員) なかなか都合がつかず、会議に参加できなかったですが、一戸委員と同じようにお父さん目線でいくと、なかなかこういったことには目が届かないですし、この会議に出ていろんな意見を聞いて勉強になったと思います。私も子どもが大きくなっていて子育ての目線が変わってしまっていますが、以前は子ども向けの企画を考えたりしていたので、これではちょっと堅苦しい部分があるのかなと感じました。もう少し触りやすい内容だと皆さん興味が沸くのかなと感じました。

(金澤委員) 大変な量の資料の作成ありがとうございました。こども計画の概要版はぱっと見て、こういったことをやっているんだなとわかりやすくなっていいなと思いました。私も行政文書には慣れてきましたが、まだとっつきにくい部分があるかと思っています。ですので、公設の施設だけではなく、スーパーなどいろいろなところにポスターが貼ってあるといいのではないかなと思いました。特に直接給付になるような事業をたくさんやられています。知っている知らないでは生活に差が出てくると思いますので、難しい部分ではあると思いますが、こちらのほう期待しております。最後、緑小学童保育室の利用者が10名をきることは驚きました。どういった理由でそうなったのか、いろいろ考えさせられました。以上です。

(小倉委員) 委員の皆様、2年間、下野市のこどもたちのため、そして親、またこれから親となろうとしている若者のメッセージを作れたんじゃないかと思いますし、この施策を皆さんと考えられて本当にありがとうございました。私たち事業者からすると、もう少しこうしたら子どもたちのためになるんじゃないかとか、こうした方がお母さんのためだとか、日々感じています。それをこの場で言わなかったら、責任を果たせないという思いもありましたので、つついっいろいろ言ってしまいました。でもそれが子ども達と保護者のためにもなるし、下野市のためにもなるから、私たちはこの細かい字を読んだり考えたりしているわけです。多分事務局の方は、この計画をお父さんお母さんみ

んなに読んでもらおうと思っていないとは思いますが、でも、これは作らなければいけなくて、それでもわかりやすくするにはどうしたらよいかって、もしかしたらこの場にいる委員が発信することによって見てもらえたりするかもしれませんので、他人事と思わず、下野市のことを考えていただけたらと思います。本当に2年間ありがとうございました。お疲れ様でした。

(野口委員) 会議に2年間出させていただいて、本当に大変勉強になりました。保育園のことはわかりますが、子育ての現状がわからなかったのも、いろいろな意見を聞くことができてよかったなと思います。子ども達が成長していくうえで、いろんな関係者との連携を取っていくことの大切さを改めて感じました。いろいろなことを保育園でも活かせるなと思います。この子ども向けのリーフレットは大人が見てもいいなと思いました。園でもいろいろ情報提供していきたいと思います。本当にありがとうございました。

(近藤委員) 皆さんお疲れ様でした。みんなの目で見直していけば、いろいろなことに気づくのだなと思いました。市の担当者の方が作っていただいたのですが、他の方は見られなかったのかなと思ったところがありました。本当に大変なことだと思いますが、ありがとうございました。

(佐間田会長) 2年間、本当にありがとうございました。至らぬ司会で本当に申し訳ありません。また事務局の皆さん、本当にこの愛情のこもった計画を作成いただきありがとうございました。こども計画のリーフレットは前回の時にご意見して、こんなにすぐに形となって、大変だったかと思います。私たちは嬉しく思っています。こどもの時は学校とか大人とかが決めたルールの上に載せられているだけというか、自分たちが主役なのに除外されているような気持ちがあるからこそ、今不登校になってしまったり、悩んでいるこどもたちは多いと思いますし、ぜひこのこども計画を子どもたちの目に入るところに貼っていただきたいです。人権こととか子ども達自身がわかって意見をしたいなどとか示してほしいです。このしもつけっ子応援プロジェクトやこども計画はぜひ総合計画や移住の方でもっと活用いただき、宣伝できるかと思いました。皆様の貴重な意見を聞いて、私も勉強になりました。2年間本当にありがとうございました。それでは、進行を事務局に戻します。

(事務局、浅香課長)

ありがとうございました。本日ご指摘いただきましたものにつきましては、修正すべきところは修正していきたいと思います。中には、業者が作った図を使っているものもあり、一部変更できないところもありますが、多くのところ修正してまいりたいと思います。計画書は再度、委員の皆様にもお送り

させていただきたいと思います。また様々ご意見、ご指摘いただきましたように、この計画は作って終わりというわけではありません。いかに周知していくか、またこの計画の思いを啓発していくかが課題になるかと思います。様々ご意見をいただいておりますので、反映して啓発に努めてまいりたいと思います。その他でいくつかお話しさせていただきましたが、資料が用意できず、申し訳ありません。私どもも、この子育て会議は非常に重く捉えておりますので、今後も様々な子ども支援施策の取り組みについては、この会議で情報共有をさせていただきます。引き続きご指導のほう宜しくお願い致します。また会長においては、長時間にわたる進行ありがとうございました。このメンバーによる子育て会議は本日が最終回になります。委員の皆様におかれましては、2年間活発なご議論いただき誠にありがとうございました。令和7年度からの子育て会議委員については、改めて関係団体に推薦依頼をしたいと考えております。その他公募委員につきましては、4月に募集いたしますので、宜しくお願い致します。それでは事務局を代表しまして、荻原健康福祉部長よりお礼の挨拶をさせていただきます。

(事務局、荻原部長)

本日は皆様、長時間にわたる会議お連れ様でございました。また、委員の任期2年間、ご尽力いただきありがとうございます。昨年が3回、今年が4回、合計7回、この会議を開催させていただいたところです。終始活発なご議論をいただき、また真摯に取り組んでいただきまして、無事に本年度終了しましたことを感謝申し上げます。今年はこども計画を作成しまして、皆様のご意見がなかったら、ここまでのものができなかったと思っておりますので、本当にありがたく思います。この計画につきましては、ほとんどの市町は職員だけで作っている状況ではなく、わが市では職員だけで作り上げることができました。本年度一斉に計画を策定することになってしまったので、参考事例を見ることもできずに、手探りで進めてきたところです。この膨大なデータを集めまして、なんとか作り上げてきた事務局にも感謝いたします。この計画はこれで終わりではなく、ここに掲載した事業を着実に実行していくことになりますので、引き続き宜しくお願い致します。この計画の最終目標では、こどもの権利等もありますが、やはり今問題なのは合計特殊出生率で、子どもの数をどうしていくのかを考えていかなければならないと思っております。本市の人口ビジョンでは2020年は1.32で、栃木県内ではいいほうですが、まだまだ少ないほうです。目標は2.0で、難しい数字となっておりますが、40年後そういったものを目指していこうというものですので、この計画はこの一助になればいいのかなと思います。それぞれの委員につきましてはこれからそれぞれの立場でご尽力いただくこととなりますが、引き続き本市の子ども子育ての施策に対しまして、ご尽力をいただきたいと思います。2年間本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためここに署名する。

会 長

議事録署名人